

2022年3月8日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 管理・経営企画部門長 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

**Elanco Animal Health Inc. によるグレリン受容体作動薬ELURA®の欧州承認申請
およびマイルストーン達成に伴う一時金受領のお知らせ**

このたび、当社は、Elanco Animal Health Inc.（本社：米国インディアナ州、以下「エランコ社」）より、当社がエランコ社へ導出したグレリン受容体作動薬ELURA®（capromorelin/RQ-00000005/AT-002）につきまして、慢性腎疾患（CKD：chronic kidney disease）の猫の体重減少を管理する薬として欧州当局に承認申請を行ったことの通知を受けました。これにより、当社はマイルストーン達成に伴う一時金を受領することが確定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、本件は、東京証券取引所の規則に定める適時開示には該当いたしません、有用な情報と判断したため、任意開示いたします。

ELURA®は摂食や消化管運動を促す空腹ホルモンであるグレリンを模倣して食欲を刺激する経口液剤です。ELURA®による猫の体重増加は、その作用機序から食物摂取量の増加と代謝変化によるものと考えられています。ELURA®は、エランコ社が実施したピボタルフィールド試験の成績^{*1}に基づき、2020年10月、猫での使用が承認された世界初のグレリン受容体作動薬として米国で承認を受けました。2021年3月には米国での販売が開始されており、今回の欧州での承認申請はそれに続く重要な進展となります。

CKDはあらゆる年齢の猫で見られますが、特に中高齢の猫（7歳以上の猫）に最もよく見られ、年齢とともにさらに一般的になります。近年では総合的な健康管理が改善されて猫が長生きできるようになったため、CKDなどの加齢に伴う猫の慢性疾患が獣医師に大いに懸念されています。10歳以上の猫の30～40%以上にある程度のCKDが存在すると推定されています。CKDのネコは、通常、病気が進行するにつれて体重が減り続けます。この体重減少はネコの予後を悪化させ、寿命を縮める可能性があります。

当社は2010年12月に、Aratana Therapeutics Inc.（現エランコ社）と、ELURA®の有効成分であるcapromorelinの動物用医薬品としての全世界における商用化に関する導出契約を締結しております。本件により当社は、マイルストーン達成に伴う一時金100万米ドルを受領し、2022年12月期第1四半期の事業収益に計上します。

当社は今後もエランコ社と連携し、必要とされる支援を遅滞なく実施するよう務めるとともに、今後のマイルストーン収益および継続的なロイヤルティ収益の獲得を目指して尽力して参ります。

以 上

※1：CKDの猫にELURA®を56日間使用した結果、治療を受けた猫の80%以上で体重が増加しました（対照群は約40%）。早いケースでは15日目に有意な体重増加が認められました。また、長期安全性試験において、健康な猫を対象にELURA®を6ヵ月間投与しており、ELURA®の長期使用の安全性をサポートしております（出所：2021年4月1日付け当社発表より抜粋・再掲）。